	1 年 生		2 年 生		3 年 生	
重点目標	これまでの自身の人権に関する学びを振り返り、その上で高校において人権学習を積み重ねることの意義を考える。そしてその答えを見いだす作業を通じて、「人権」についての概念を整理・探究する。		世界の人権問題について、現在どのような人権侵害があるか、その人権問題の歴史的・文化的経緯はどのようなものか、世界の人権状況の改善のために何ができるかを探究する。		日本社会に残る部落差別の問題について学習することを通して、日本社会の特徴や問題点について考察し、自らの問題として日本社会の人権状況の改善を図ろうとする態度を養う。	
5月14日（水）	学習目標	自らの課題を設定することを通して、高校においても人権学習を継続して行う意義について考える。 【知識】①②③【技能】④⑤⑥【態度】⑦⑧⑨	学習目標	世界の人権問題に視点を広げ、正しい知識と具体的な事実を知ることによって人権問題への関心を高める。 【知識】①②③【技能】④⑤⑥【態度】⑦⑧⑨	学習目標	就職差別の解消に向けた取り組みへの理解を深め、就職の機会均等が保障された公正で公平な社会の実現に向けて自らが行動できる力を養う。 【知識】①②③【技能】④⑤⑥【態度】⑦⑧⑨
	テーマ	高校での人権学習で自分はどのようなことを身に付ける必要があると考えるのかについて、これまでの学習の成果を振り返った上で各自でテーマ設定する。	テーマ	世界の人権状況や問題について、その原因について当事者の声を元に知り、クラス全体で共有する。	テーマ	現在の統一応募用紙や就職受験報告書の取り組みを通して、就職差別の解消と進路保障への進展について学習し、社会の中で差別解消を図る意義を学習する。
	展開	中学校までの人権学習の成果を振り返った上で、今後自分が学びたいことや学ぶ必要があると感じることを明らかにし、それをクラスの仲間と共有する。	展開	世界の人権問題にはどのようなものがあるか、現在どのような人権侵害があるか、その人権問題の歴史的・文化的経緯はどのようなものかについて、被差別の立場の人々の考えや思いを聞きながら探究し、クラス発表する。	展開	統一応募用紙の理念や受験報告書の意義を知り、この取り組みへの参加が差別解消の行動であり、望ましい社会の形成に寄与していることについて考える。また、将来社会人として就職差別の解消にどう取り組むかを考える。
10月8日（水）	学習目標	現代の社会において人権とはどのようなものと認識されているか、どのように人権が保障されあるいは侵害されているかを明らかにすることを通して、人権学習を行う意義を確認する。 【知識】①②③【技能】④⑤⑥【態度】⑦⑧⑨	学習目標	世界平和のために現在の人権状況をどのように改善すべきか、自分事として何ができるかを考え、発表して全体で共有する。 【知識】①②③【技能】④⑤⑥【態度】⑦⑧⑨	学習目標	部落差別の学習を通して、部落差別を初めとする差別を許さない理論的知識と社会性を伴った人格を形成し、差別のない社会を自ら創造する実践力を養う。 【知識】①②③【技能】④⑤⑥【態度】⑦⑧⑨
	テーマ	人権とは何か、私たちの人権は何によって保障されているか、どのような人権が侵害されているか、人権が守られる社会の創造のために何をすべきか、どのような新たな人権を確立すべきかについて探究し、発表を通じて共有する。	テーマ	世界平和のために、現在どのような人権侵害があり、人権状況をどのように改善すべきか、改善のために私たちに何ができるかについて探究する。	テーマ	部落差別が現在も残っているのはなぜか、どのような形で残っているかを、被差別の立場の人々と共に考え、日本社会の特性とこれからのより良い日本社会をどう築くかを探究する。
	展開	前回設定した自らのテーマについて、ここまでの到達状況を報告し合う。続いて、現在の社会において人権はどのように保障されているのか、または侵害されているか、新たにどのような人権を確立すべきかを、具体的な事例を通して確認する。	展開	クラスで班を作り、前回で設定した自らのテーマについて、被差別の立場の人の声を聞き、共に考えながら探究し、その成果をクラスで発表して共有する。	展開	現在に残る部落差別とは何か、新たな部落差別とは何か、それらの解消のために私たちに何ができ、その成果が日本社会の人権状況の改善にどうつながるかを、被差別の立場の人々と考えながら探究し、クラス発表して共有する。
1月28日（水）講演会	学習目標	近年の女性の人権についての意識の高まりを受けて、身近な問題として「女性差別」の問題について学習し、他者との良好な人間作りに寄与する。 【知識】②③【技能】④⑤【態度】⑦⑧⑨	学習目標	部落差別の起源や歴史、差別の現実を講演会を通して学び、一人ひとりが自分らしく生きることのできる社会の実現に向けた態度を養う。 【知識】②③【技能】④⑤【態度】⑦⑧⑨	卒業生への「人権・同和教育の意識調査」を実施し、本校での教育活動がどのように生徒に変容を及ぼしたかを検証し、次年度以降の人権教育に活かす。	
	テーマ	講演会を通して、女性に関する人権問題が世界的な問題となっており、その背景と当事者が抱える困難や願いを知り、世界の人権状況への関心を高める。	テーマ	講演会を通して、被差別部落の人々への差別の起源と、差別の解消への取り組みや思いを知り、3年での部落差別の問題についての知識と意識を高めて3年での学習につなげる。		

【知識】①人権の概念や人権に関する国内法や条例、条約等を理解する。 ②人権確立の歴史や人権侵害の現状、差別の実態について知る。 ③自他の人権を擁護し、差別や人権侵害を予防し解決するための実践的知識を身に付ける。

【技能】④他者尊重の態度と適切な方法で自分の考えや思いを表現しつつ、他者の気持ちや思いを受け入れることができる。 ⑤差別や偏見に気づき、他者の痛みや感情を共感的に受容できる。 ⑥物事を多角的にとらえ、様々な配慮をしながら建設的な問題解決ができる。

【態度】⑦他者を認め、協力し合う人間関係を築こうとする。 ⑧人権問題を解決する方策を考え、自分の行為に責任を持って主体的に関与し行動しようとする。 ⑨自分自身を肯定的に捉えて大切にし、自分らしく行動・決定しようとする。